

『対話による協働のまちづくりを語る!』

自治体学校in静岡記念講演、初代牧之原市長 西原茂樹さん

7月27～29日開催された自治体学校in静岡に参加しました。

記念講演は『対話による協働のまちづくりを語る!』、講師は初代牧之原市長の西原茂樹さんでした。

牧之原市は静岡県中部に位置し、2005年に榛原町と相良町が合併してできた市です。中部電力浜岡原子力発電所に隣接し、西元市長の自宅も原発からわずか3キロのことでした。

西原さんはスタートしたばかりの牧之原市で、市長を3期務めました。第10回マニフェスト大賞首長グランプリ賞を受賞した方もありました。

西原さんが最初に掲げたマニフェストは「牧之原市から国を変える」でした。市民参加と協働を推進するために、「フォーラムまき」共同サロンを開催し、市民ファンリテーターがその進行を務めました。「自分ばかり話さない」「頭から否定しない」「楽しい雰囲気を大切にする」とのルールを定めることで、男女を問わずあらゆる世代階層で気楽に・楽しく・中身濃く話し合うことができました。

西原さんはこうした会議に最初から最後まで参加し、じつと市民の話を耳を傾け続けたそうです。

「市民の声に

じつと耳を傾ける」

西原さんはこのように、自治会のみなさんや小学生、高校生などいろいろな方々を市民ファンリテーターとして養成しました。

東日本大震災での福島第一原発事故を受け、西原元市長は南相馬市を視察し、市長とも懇談しました。また市民とともに「エネルギーについて」「放射線について」

「原子力について」等学習会を重ねました。

その中で2011年9月、牧之原市議会は「浜岡原発永久停止」との決議を挙げ、市長もそれを正式に表明するに至りました。市民と議会と市長が「一体となつて導き出した結論でした。

そこで2011年9月、牧之

原市議会は「浜岡原発永久停止」との決議を挙げ、市長もそれを正

式に表明するに至りました。市民と議会と市長が「一体となつて導き出した結論でした。

その中で2011年9月、牧之

原市議会は「浜